

自由大学講座一覧

作成 山野 晴雄

1920年代から30年代にかけて全国各地で展開された自由大学運動は、地域民衆の自己教育運動として知られている。全国各地で開設された自由大学の講座については、拙稿「自由大学の講義内容について(1)」(『自由大学研究』第2号、1974年)を公表し、その修正版が自由大学研究会編『自由大学運動と現代』(信州白樺、1983年)の巻末に「自由大学講座一覧」として掲載されている。その後、長島伸一『民衆の自己教育としての「自由大学」』(梨の木舎、2022年)が、関係資料を整理し、各地の自由大学の講座内容を詳細に明らかにしているが、その根拠としたとされる「自由大学運動年譜」(『自由大学研究』別冊二、自由大学運動60周年記念誌、1981年)にしても、40年以上前のものであり、講座の開講年月日や講座名などの誤りやその後の史料調査で明らかになった講座については、反映されていない。

ここでは、2021年以降、私が収集した関係資料を精査し、修正を加え、「自由大学講座一覧」としてまとめたものを発表することにした。

なお、上伊那自由大学(長野県伊那町)については、1924年8月から9月に存在していたことは史料的に裏付けられ、これまで各地に設立された自由大学の1つとして取り扱ってきたが、1924年8月の自由大学協会設立準備会には招かれず、自由大学協会にも加盟していないことから、自由大学運動として位置づけられないと判断し、削除した。長野県内各地では自由大学運動の影響を受けて「自由大学」の名称を付けた青年たちの自主的な学習組織が設立されたが、上伊那自由大学もその1つと考えられる。また、新たに但馬自由大学を付け加えたが、これは、土田杏村が中心人物と思われる目加田廉一らと設立について相談にのり、内容は不明であるが趣意書と考えられる文章を書いており(「杏村日記」1926年3月29日条、6月13日条)、自由大学運動に位置づけられると判断したことによる。

1. 上田(信濃)自由大学

学期	開講年月日	日数	講師	講座	聴講者数	会場	備考	出典
1	1921.11. 1	7日間	恒 藤 恭	法律哲学	56名	横町神職合議所		1,2,3,4,5
	1921.12. 1	6日間	タカクラ・テル	文学論	68名	横町神職合議所		1,2,6
	1922. 1.22	7日間	出 隆	哲学史	38名	横町神職合議所		1,2,7,8
	1922. 2.14	4日間	土 田 杏 村	哲学概論	58名	横町神職合議所		1,9,10,11
	1922. 3.26	2日間	世 良 寿 男	倫理学	35名	横町神職合議所	A	1,12,13
	1922. 3.29	4日間	中 田 邦 造	西田博士の哲学の研究		横町神職合議所	世良寿男の代替,A	12
	1922. 4. 2	5日間	大 脇 義 一	に就て 心理学	31名	横町神職合議所	A	1,12,13

2	1922.10.14	5日間	土 田 杏 村	哲学概論	44名	横町神職合議所 蚕業取締所上田支所 上田中学校 蚕業取締所上田支所 蚕業取締所上田支所 蚕業取締所上田支所 蚕業取締所上田支所	公開講演 B B 特別講義,B B,C C	1,14
	1922.11. 1	5日間	恒 藤 恭	法律哲学	47名			1,15
	1922.12. 3	1日	タカクラ・テル	文学講演				16
	1922.12. 5	5日間	タカクラ・テル	文学論	63名			1,16,17,18
	1923. 2. 5	5日間	出 隆	哲学史	50名			1,18,19
	1923. 2. 5	5日間	出 隆	カントに就て				
	1923. 3. 9	5日間	山 口 正太郎	経済学	34名			1,18,20
1923. 4.11	5日間	佐 野 勝 也	宗教学	34名	蚕業取締所上田支所	C	1,17,18,21	
3	1923.11. 5	6日間	中 田 邦 造	哲学概論	30名	蚕業取締所上田支所 蚕業取締所上田支所 蚕業取締所上田支所 蚕業取締所上田支所	C C,D E E,H E,F	8,22,23
	1923.11.12	5日間	山 口 正太郎	経済思想史				8,22,23
	1923.12. 1	5日間	タカクラ・テル	文学論				8,22,24
	1924. 3.22	5日間	出 隆	哲学史				18,25,26
	1924. 3.27	5日間	世 良 寿 男	倫理学				27
1924. 4. 1	5日間	佐 野 勝 也	宗教哲学	宗教学	18,27			
4	1924.10.13	5日間	新 明 正 道	社会学（概論）	21名	上田市役所 上田市役所 上田市役所 上田市役所 上田市役所 上田市役所	F,I F,I F 上田市民大学共催,F	18,28,29,30
	1924.11. 3	5日間	今 中 次 麿	政治学（国家論）	30名			28,29
	1924.11.21	5日間	金 子 大 栄	仏教概論				18,28,29
	1924.12.10	5日間	タカクラ・テル	文学論				18,28,29
	1925. 3.21	5日間	波多野 鼎	社会思想史				18,29
	1925. 3.26	5日間	佐 竹 哲 雄	哲学概論				18,29
5	1925.11. 1	5日間	新 明 正 道	社会学	30名	上田市役所	G G	18,31
	1925.12. 1	5日間	タカクラ・テル	仏蘭西文学				18,31,32
	1926. 1.		谷 川 徹 三	哲学史				33
	1926. 2.		中 田 邦 造	哲学（西田哲学）				33
	1926. 3.		金 子 大 栄	仏教概論				33
	1926. 3.22	5日間	松 沢 兼 人	社会政策				34
再建 1	1928. 3.14	3日間	タカクラ・テル	日本文学研究	60名	上田図書館 海野町公会堂	G	18,35,36,37
	1928.11.19	3日間	三 木 清	経済学に於ける哲学的 基礎	25名			36,38
再建 2	1929.12. 6	4日間	タカクラ・テル	日本文学研究	28名	海野町公会堂 海野町公会堂	G G	18,36,39,40
	1930. 1.24	3日間	安 田 徳太郎	精神分析学	44名			18,36,41

備考；筆記ノート

A：細田延一郎「筆記帳 自由大学講義二号」 B：中沢鎌太「自由大学筆記 其一」 C：中沢鎌太「自由大学筆記 其二」
D：中沢鎌太「自由大学筆記 其三」 E：中沢鎌太「自由大学筆記 其四」 F：中沢鎌太「自由大学筆記 其五」 G：中沢鎌太「自由大学筆記 其七」 H：遠藤恭介「信州自由大学 出講師 哲学史」 I：馬場直次郎「上田自由大学講座筆記」

出典

- 1 『信濃自由大学の趣旨及内容』1923年。
- 2 『信濃毎日新聞』1921年10月31日。
- 3 猪坂直一「上田自由大学の回顧(5)」(『自由大学雑誌』第1巻第5号、1925年)。
- 4 『信濃毎日新聞』1921年10月31日。
- 5 『長野新聞』1921年11月2日。
- 6 『長野新聞』1921年11月27日。
- 7 『長野新聞』1922年1月23日。
- 8 『信濃毎日新聞』1922年1月10日。
- 9 『信濃毎日新聞』1922年2月8日。
- 10 猪坂直一「上田自由大学の回顧(6)」(『自由大学雑誌』第1巻第6号、1925年)。
- 11 『長野新聞』1922年2月14日。
- 12 細田延一郎「筆記帳 自由大学講義二号」。
- 13 『長野新聞』1922年3月16日。
- 14 『長野新聞』1922年10月11日。
- 15 『長野新聞』1922年10月27日。
- 16 『長野新聞』1922年11月28日。
- 17 「青木猪一郎日記」(『自由大学研究』第4号、1975年)。
- 18 「中沢鎌太日記」(『自由大学研究』第4号、1975年)。
- 19 『長野新聞』1923年1月31日。
- 20 『長野新聞』1923年2月25日。
- 21 『長野新聞』1923年4月11日。
- 22 『信濃毎日新聞』1923年11月4日。
- 23 『長野新聞』1923年11月3日。
- 24 『信濃毎日新聞』1923年11月29日夕刊。
- 25 『長野新聞』1924年3月18日。
- 26 横田憲治宛高倉輝の手紙(1924年3月25日、山野晴雄編『伊那自由大学関係書簡』自由大学研究会、1973年)。
- 27 横田憲治宛猪坂直一の手紙(1924年4月1日、山野晴雄編『伊那自由大学関係書簡』自由大学研究会、1973年)。
- 28 「自由大学彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第1号、1925年)。
- 29 「彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第4号、1925年)。
- 30 『信濃毎日新聞』1924年10月7日。
- 31 「彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第10号、1925年)。
- 32 「彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第11号、1925年)。
- 33 猪坂直一『回想・枯れた二枝』上田市民懇話会、1967年。
- 34 『信濃毎日新聞』1926年3月20日。
- 35 「上田自由大学開講案内状」(1928年3月4日)。

- 36 「上田自由大学会計簿」。
 37 『北信毎日新聞』1928年3月16日。
 38 『上田毎日新聞』1928年11月21日（『自由大学研究通信』第3号、1980年）。
 39 『北信毎日新聞』1929年12月4日。
 40 『上田毎日新聞』1929年12月5日（『自由大学研究通信』第3号、1980年）。
 41 「上田自由大学開講案内葉書」（1930年1月18日）。

2. 魚沼自由大学

回	開講年月日	日数	講 師	講 座	聴講者数	会 場	備 考	出 典
1	1922. 8.25	3日間	土 田 杏 村	教育の基礎としての哲学	約180名	堀之内小学校	(魚沼夏季大学)	1,2,3,4
2	1923. 8. 6	3日間	タカクラ・テル	近代思潮論	60名	堀之内小学校	婦人のための講演	4,5
	1923. 8. 6	1日	タカクラ・テル	恋愛と家庭				
	1923. 8. 7	1日	沖 野 岩三郎	宿命されたる個人は如何にして自由を得べきか	30名		科外講演	
	1923. 8. 8	3日間	山 本 宣 治	性教育論				
	1923. 8. 9	1日	中 山 晋 平	音楽実施指導				
	1923. 8.10	1日	山 本 宣 治	性の問題				
3	1924. 8.18	3日間	タカクラ・テル 由 良 哲 次	文学論（ダンテ） 現代の哲学、特にナトルプに就て	約100名	堀之内小学校		6,7
4	1925. 3.17	3日間	富 田 碎 花	土の文学－アイルランド文学を中心として－		堀之内小学校		8,9,10
5	1925.12.12	5日間	住 谷 悦 治	社会思想史	約50名	堀之内小学校		11,12,13
6	1927. 6.25	2日間	今 中 次 麿	政治学	約50名	堀之内小学校		14,15

出典

- 1 『新潟毎日新聞』1922年7月27日。
 2 『十日町新聞』1922年8月25日。

- 3 「編輯余録」(『文化』第4巻第5号、1922年10月)。
 - 4 響倶楽部『夏季大学ニ関スル記録 大正十一年』など庶務記録(林広策所蔵)。
 - 5 『北越新報』1923年8月3日。
 - 6 『北越新報』1924年8月17日。
 - 7 『北越新報』1924年8月19日。
 - 8 『北越新報』1925年3月11日。
 - 9 『新潟毎日新聞』1925年3月14日。
 - 10 「彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第3号、1925年)。
 - 11 『北越新報』1925年12月4日。
 - 12 『新潟毎日新聞』1925年12月5日。
 - 13 住谷悦治「『信濃自由大学』を想う」(『赤旗』1976年12月27日)。
 - 14 下村正作「手帳」(1927年日記、『自由大学研究』第6号、1979年)。
 - 15 前野良「(資料)魚沼自由大学における『政治学講義の内容』」(『自由大学研究』第8号、1983年)。
- *なお、新聞・書簡類については、佐藤泰治編『小出町歴史資料集』(第1集 [近代教育編Ⅱ]小出町教育委員会、1981年)に収録されている。

3. 八海自由大学

回	開講年月日	日数	講 師	講 座	聴講者数	会 場	備 考	出 典
1	1923.12.16	1日	タカクラ・テル	文学概論		伊米ヶ崎小学校	発会式講演	1,2
2	1924. 2.16	1日	出 隆	哲学史		伊米ヶ崎小学校		2,3,4
3	1924. 8. 1 1924. 8. 3	2日間 1日	山 口 正太郎 野 口 雨 情	経済学 童心芸術、童謡教育	約150名 約200名	浦佐村普光寺		5,6,7
4	1925. 3.14	3日間	富 田 碎 花	土の文学－アイルランド文学を中心として－	約80名	佐藤清之丞宅		8,9,10
5	1925. 8. 1	1日	中 山 晋 平 佐 藤 千夜子	音楽講習会	約150名	六日町小学校		11,12,13
6	1926.12.26	3日間	柳 田 謙十郎	哲学概論(認識論)		伊米ヶ崎小学校	A	14

備考；筆記ノート

A：桑原亮太郎「哲学概論(認識論) 柳田謙太郎述」

出典

- 1 『北越新報』1923年12月18日。
 - 2 渡辺泰亮「我等の自由大学」(『新潟毎日新聞』1925年8月1日)。
 - 3 渡辺泰亮宛出隆の葉書(1924年2月10日)。
 - 4 出隆『出隆自伝』(出隆著作集7、勁草書房、1963年)。
 - 5 『魚沼新報』1924年4月29日。
 - 6 『新潟毎日新聞』1924年8月5日。
 - 7 『北越新報』1924年8月5日。
 - 8 『北越新報』1925年3月11日。
 - 9 『新潟毎日新聞』1925年3月14日。
 - 10 「彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第3号、1925年)。
 - 11 『北越新報』1925年8月2日。
 - 12 『新潟毎日新聞』1925年8月3日。
 - 13 渡辺泰亮宛中山晋平の手紙(1925年7月23日)。
 - 14 桑原亮太郎「哲学概論(認識論) 柳田謙太郎述」。
- *なお、新聞・書簡類については、佐藤泰治編『小出町歴史資料集』(第1集 [近代教育編Ⅱ]小出町教育委員会、1981年)に収録されている。

4. 川口自由大学

回	開講年月日	日数	講師	講座	聴講者数	会場	備考	出典
1	1926.10.24	1日	タカクラ・テル	日本文化の過去現在及び未来	約60名	西川口小学校		1,2,3,4
2	1927.10. 9	1日	タカクラ・テル	人類将来の文化(殊に宗教の位置)	約70名	西川口小学校		2,5,6

出典

- 1 『北越新報』1926年10月24日。
 - 2 佐藤泰治「川口自由大学序論」(川口町歴史民俗研究同好会『会誌』第2号、1980年)。
 - 3 『北越新報』1926年10月13日。
 - 4 林広策より聴取(1978年8月10日)。
 - 5 『北越新報』1927年9月22日。
 - 6 『北越新報』1927年10月5日。
- *なお、新聞・書簡類については、佐藤泰治編『小出町歴史資料集』(第1集 [近代教育編Ⅱ]小出町教育委員会、1981年)に収録されている。

5. 伊那（信南）自由大学

学期	開講年月日	日数	講 師	講 座	聴講者数	会 場	備 考	出 典
1	1924. 1. 8	5日間	山 本 宣 治	人生生物学	73名	飯田小学校 飯田町正永寺 天竜倶楽部 天竜倶楽部	特別講座 A	1,2,3,4
	1924. 1.28	5日間	タカクラ・テル	文学論	52名			1,4,5
	1924. 3. 4	5日間	水 谷 長三郎	唯物史観研究	27名			1,6,7,8,9
	1924. 3.10	5日間	新 明 正 道	社会学概論	32名			1,4,10
2	1924.10.21	5日間	山 口 正太郎	経済学	16名	天竜倶楽部 天竜倶楽部 天竜倶楽部 百十七銀行	A B 公開講演	1,11,12
	1924.12. 1	5日間	谷 川 徹 三	哲学史概論	23名			1,4,13,14,15
	1925. 1. 8	5日間	タカクラ・テル	文学論（ダンテ研究）	26名			1,4,16
	1925. 1. 8	1日	タカクラ・テル	所感				16
	1925. 3.15	5日間	猪 坂 直 一	自由大学運動の現在及将来				
	1925. 3.15	5日間	波多野 鼎	社会思想史	24名	天竜倶楽部		1,17
3	1925.11. 7	5日間	新 明 正 道	社会学（社会進化論）	22名	飯田実科高等女学校 飯田小学校 飯田小学校 飯田小学校 飯田小学校	B 特別講座	1,18,19
	1925.12. 5	5日間	谷 川 徹 三	哲学史	19名			1,20
	1926. 2. 3	4日間	タカクラ・テル	ダンテ研究（続講）	15名			1,21
	1926. 2.25	4日間	西 村 真 次	人類学	16名			1,22
	1926. 3.11	5日間	佐 竹 哲 雄	哲学概論	17名			1,23
4	1926.11.20	2日間	高 橋 亀 吉	日本資本主義経済の研究	26名	天竜倶楽部	特別講座	1,24
	1927. 1.12	3日間	谷 川 徹 三	哲学史（現代哲学）	10名	飯田小学校		1,25
	1927. 3.25	3日間	新 明 正 道	近世日本社会史	12名	飯田小学校		1,26
	1927.11.15	5日間	今 川 尚	経済学原論	約50名	千代村米川公会堂 飯田小学校 千代村米川公会堂 竜江村大願寺	千代村支部 千代村・下条支部,C 千代村・竜峡支部、 竜江青年会共催、C 千代村支部,D	27,28
	1928.11. 1	2日間	佐 竹 哲 雄	哲学概論				1,29
	1928.12. 1	4日間	タカクラ・テル	日本民族史				1,30,35
	1929. 2.15	3日間	三 木 清	経済学の哲学的基礎				1,31,35
	1929.12.12	3日間	藤 田 喜 作	農村社会について				32,33,34

1929.12.20	3日間	タカクラ・テル	日本民族史研究続講		千代村米川公会堂	千代村支部、千代青年会と共催,C	34,35,36
1930. 2.14	3日間	三 木 清	経済学の哲学的基礎	86名	竜江小学校	千代村・竜峡支部、中部青年会共催	37,38

備考；筆記ノート

A：佐々木忠綱「哲学史概論」 B：楯操「高倉輝 文学論（ダンテ研究）」 C：楯操「インテリゲンチヤとは何ぞ 高倉輝 経済学の哲学的基礎 三木清 日本民族史 高倉輝」 D：楯操「藤田喜作先生 農村社会について」

出典

- 1 『伊那自由大学』第1号、1929年。
- 2 『南信新聞』1924年1月6日、1月8日。
- 3 『南信新聞』1924年1月10日。
- 4 「胡桃澤盛日記」刊行会編『胡桃澤盛日記』1（「胡桃澤盛日記」刊行会、2011年）。
- 5 『南信新聞』1924年1月26日。
- 6 『南信新聞』1924年2月26日、2月29日。
- 7 横田憲治宛水谷長三郎の電報（1924年3月3日）。
- 8 『南信新聞』1924年3月6日。
- 9 横田憲治宛水谷長三郎の葉書（1924年3月11日）。
- 10 『南信新聞』1924年3月7日。
- 11 『南信新聞』1924年10月16日。
- 12 『政治と青年』第4号（1924年10月10日）。
- 13 『南信新聞』1924年11月26日、11月29日。
- 14 『信濃毎日新聞』1924年11月26日。
- 15 『政治と青年』第9号（1924年12月1日）。
- 16 『南信新聞』1925年1月7日。
- 17 『南信新聞』1925年3月11日。
- 18 『長野新聞』1925年11月6日。
- 19 『南信新聞』1925年11月5日。
- 20 『南信新聞』1925年12月5日。
- 21 『南信新聞』1926年2月2日。
- 22 『南信新聞』1926年2月23日、2月25日。
- 23 『南信新聞』1926年3月11日、3月12日。
- 24 『南信新聞』1926年11月21日。
- 25 『南信新聞』1927年1月7日、1月8日、1月9日。
- 26 『南信新聞』1927年3月24日、3月25日。
- 27 『南信新聞』1927年11月14日。
- 28 楯操より聴取（1972年8月2日）。
- 29 『南信新聞』1928年10月17日、10月28日。

- 30 『長野新聞』1928年11月29日。
 31 『南信新聞』1929年2月13日。
 32 楯操「藤田喜作先生 農村社会について」。
 33 藤田喜作色紙（1929年12月12日、今村良夫・真直編『天竜峡－歴史と叙情－』信濃路、1979年）。
 34 清水迪夫「伊那自由大学と『南信新聞』」（『伊那』2008年11月号）。
 35 楯操「インテリゲンチヤとは何ぞ 高倉輝 経済学の哲学的基礎 三木清 日本民族史 高倉輝」。
 36 清水米男編『千代青年会々史』（千代青年会、1934年）。
 37 「昭和五年二月 下伊那郡中部青年会等主催自由大学講座開催案内並会計報告」（『長野県史』近代史料編第8巻1、長野県史刊行会、1987年）。
 38 「年譜」（『三木清全集』第19巻、岩波書店、1968年）。
 *なお、書簡・電報類については、山野晴雄編『伊那自由大学関係書簡』（自由大学研究会、1973年）に収録されている。

6. 東北文化学院

回	開講年月日	日数	講師	講座	聴講者数	会場	備考	出典
1	1923. 1.17 1923. 1.21	5日間 1日 1日	タカクラ・テル タカクラ・テル	文学論 イワンの馬鹿 お伽噺会	約60名	原町小学校 原町小学校 原町小学校	特別公開講演 児童対象	1,2,3 4 1
2	1923. 2.24 1923. 2.25	5日間 1日	堀 経 夫 堀 経 夫	経済学 経済政策の基礎としての 「自由平等」		原町小学校 原町小学校	特別公開講演	5,6 5,7
3	1923. 3.26 1923. 3.27	3日間 1日	出 隆 出 隆	哲学史 常識の基礎と哲学		原町小学校 原町小学校	特別公開講演	8 8,9

出典

- 1 『福島民報』1922年12月27日、1923年1月23日。
 2 土田杏村宛高倉輝の手紙（1923年1月22日）。
 3 山越脩蔵宛て田口富五郎の手紙（1923年1月29日）。
 4 『福島民報』1924年2月 [8]日～2月17日。
 5 『福島民報』1923年2月13日。
 6 『福島民友新聞』1923年2月15日、2月16日。
 7 『福島民報』1923年3月7日～3月14日。
 8 『福島民報』1923年3月20日。
 9 『福島民報』1923年4月7日～4月12日。

7. 松本自由大学

回	開講年月日	日数	講 師	講 座	聴講者数	会 場	備 考	出 典
	1924.12.16	1日	タカクラ・テル 猪 坂 直 一	二つの世界 自由大学に就いて	約200名	松本市公会堂	発会式兼講演会	1,2
1	1925. 1.11	5日間	谷 川 徹 三	哲学史	91名	松本商業会議所		3,4,5,6
2	1925. 2.10	5日間	児 玉 達 童	哲学概論	88名	松本商業会議所		7,8
3	1925. 3.26	5日間	金 子 大 栄	仏教概論	66名	松本商業会議所		9,10,11
4	1925. 4. 6	5日間	中 島 重	国家論	66名	松本商業会議所		12,13,14
5	1925. 4.12	5日間	山 口 正太郎	経済学	43名	松本商業会議所		12

出典

- 1 『信濃日報』1924年12月18日。
- 2 「自由大学彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第1号、1925年)。
- 3 唐澤正平「松本自由大学便り」(『自由大学雑誌』第1巻第2号、1925年)。
- 4 『信濃民報』1925年1月17日。
- 5 『信濃日報』1925年1月10日、1月13日。
- 6 『長野新聞』1925年1月10日。
- 7 「彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第3号、1925年)。
- 8 『信濃日報』1925年2月8日。
- 9 「彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第4号、1925年)。
- 10 『信濃毎日新聞』1925年4月1日。
- 11 『長野新聞』1925年4月1日。
- 12 「彙報」(『自由大学雑誌』第1巻第5号、1925年)。
- 13 『信濃民報』1925年3月23日。
- 14 『信濃日報』1925年3月21日。

8. 群馬自由大学

学期	開講年月日	日数	講師	講座	聴講者数	会場	備考	出典
	1926. 1.10	1日	タカクラ・テル 猪坂直一	文学の成立に就いて 自由大学に就いて	約150名	前橋臨江閣	発会式講演	1
1	1926. 2. 6	5日間	谷川徹三	哲学史	約150名	前橋男子師範学校		2,3
	1926. 2.23	4日間	タカクラ・テル	文学論		前橋男子師範学校		4
	1926. 3.18	5日間	西村真次	日本民族の発生及展開		前橋男子師範学校		5
2	1926.10.19	5日間	今中次麿	政治学	約120名	前橋男子師範学校		6
	1926.12. 6	5日間	松沢兼人	経済学概論		前橋男子師範学校		7
	1927. 1.23	1日	関口泰	普選について		前橋臨江閣	特別講座	8
3	1928. 3.10	2日間	岩澤正作	石器時代の上毛に就て	29名	前橋図書館		9,10
	1928. 3.11	1日	福島武雄	前橋城に就て				

出典

- 1 『上毛新聞』1926年1月11日。
- 2 『上毛新聞』1926年1月27日、2月14日。
- 3 谷川徹三の証言（自由大学研究会シンポジウム、1984年1月29日）。
- 4 『上毛新聞』1926年2月19日。
- 5 『上毛新聞』1926年3月3日、3月12日。
- 6 『上毛新聞』1926年10月15日、10月20日。
- 7 『上毛新聞』1926年11月27日。
- 8 『上毛新聞』1927年1月12日。
- 9 『上毛及上毛人』第131号（1928年3月）、第132号（1928年4月）。
- 10 『上毛新聞』1928年3月7日。

9. 但馬自由大学

回	開講年月日	日数	講 師	講 座	聴講者数	会 場	備 考	出 典
1	1926. 7. 4	7日間	目加田 廉 一	社会生活の進歩とその 経済的・道徳的考察	約100名	日高小学校		1,2

出典

- 1 『神戸又新日報』1926年6月27日。
- 2 『神戸新聞』1926年7月6日。

(2025年2月1日脱稿)